三重県入札等監視委員会　審議概要（令和４年度 第４回）

<table>
<tr><td>開催日及び場所</td><td colspan="2">令和5年2月20日（月）14：00～16：00　JA三重健保会館大研修室</td></tr>
<tr><td>出席委員</td><td colspan="2">委員長　　木 本　凱 夫
副委員長　堤　　大　三
委　員　　山田　梨津子
委　員　　山 﨑　美 幸
委　員　　加 藤　拓 也
委員5名中5名出席</td></tr>
<tr><td>審議対象期間</td><td colspan="2">令和4年10月1日から令和4年12月31日</td></tr>
<tr><td>抽出案件</td><td>総件数　4件</td><td rowspan="4">（備考）</td></tr>
<tr><td>一般競争入札</td><td>3件</td></tr>
<tr><td>指名競争入札</td><td>1件</td></tr>
<tr><td>随意契約</td><td>0件</td></tr>
<tr><td rowspan="2">委員からの意見・質問、それらに対する回答等</td><td>意見・質問</td><td>回答</td></tr>
<tr><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>委員会による意見の具申または勧告の内容</td><td colspan="2">特になし</td></tr>
</table>

入札等監視委員会　令和4年度 第4回定例会 （令和5年2月20日）	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名　① 多気・大台地区　県営中山間地域総合整備事業　大台ほ場整備その2工事 〔松阪農林事務所〕	
・小規模な箇所であるが、整備対象箇所の選定はどのようにしたのか。規則があれば教えていただきたい。	・一番は地元の要望に沿って、選定している。ほ場整備については、未整備のところで、要整備計画を立てており、その範囲内で要望のある箇所を選定している。
・事業全体が令和6年度までということだが、令和5年度以降に整備予定の箇所が多いように思う。進捗状況はいかがか。	・順調ではないが、順番に測量設計や用地買収を行っている。最終工期については延長する予定で、完了見込みは令和8，9年度である。
・総合評価方式で公告した後、価格競争方式に切り替えているが、参加業者数が少ないと総合評価方式は難しいのか。	・全体的な工期が押しているため短期間で発注することができることと、入札参加のしやすさを考慮して価格競争方式を選択した。
工事名　②自然災害防止事業　第熊－5号工事（坂口）測量設計業務委託 〔熊野農林事務所〕	
・落札率が高い理由で、指名業者が業務繁忙であったとあるが、過去の類似工事では落札率も80％強と競争性が働いている。過去の類似工事と差ができた理由はあるか。	・業務の内容自体に大きな違いはない。入札の時期が遅くなったため、業者が年度当初に仕事を取られて手持ち業務として執行されていたと考える。
・平成31年度から継続している事業であるのに、入札が遅くなってしまった理由が特別にあれば。	・秋ごろの入札を予定していたが、林道を復旧する詳細な位置が決まり、用地を精査したところ県外の地権者がいらっしゃることが判明し、了解を頂くのに少し時間を要したのが原因。
・流路工と林道が交差する部分はどのような方式で施工することを考えているか。	・林道については、御浜町の管理で協議はこれからであるが、ボックスカルバートを検討している。
工事名　③ 主要地方道桑名大安線（桑部橋） 道路改良（橋梁上部工）工事 〔桑名建設事務所〕	
・河川内にトラックやヤードを設けて作業されるということだが、夏場の出水時期に関しての安全対策はどういったことを考えているか。	・夏場は水量も多いので、11月から5月までの間に河川内の工事をさせていただく。
・平成21年度から14年ほどされている中で、今までは何をしていて、現在に至っているのか。	・用地の買収で時間を要したが、用地の買収の目途が立ったので工事をはじめさせていただいた。
・技術提案のところで、落札業者の方が特に優れていた点があれば差し支えない範囲で教えていただきたい。	・技術審査会で決めた項目に合致するものが多いものを評価する中で、架設時の施工などで、新技術を取り入れて、確実性を高めるなどの提案が評価に繋がった。
工事名　④北勢沿岸流域下水道（南部処理区） 南部浄化センター第2期事業滅菌棟（土木）建設ほか工事 〔北勢流域下水道事務所〕	
・令和6年度に供用予定ということで、進捗率は43%となっている。令和5年度以降に多くの工事が開始されるということだが、当初の予定通り進んでいるのか。	・令和3年度末の数字が43%である。令和4年度末では7割弱まで来る予定。円滑に進んでいる。
・建設キャリアアップシステム事業者というのは何か。具体的に。	・すでに国交省が導入しており、県でも追って導入しているもの。技能者の処遇改善を目的とした制度である。技能者の能力や、現場の就業履歴等を蓄積する仕組み。
・滅菌装置に先行事例はあるか。	・既に供用済みの南部浄化センターの施設で導入している。また、他県でも使用されている事例を確認している。
その他	
次回、令和5年度第1回入札等監視委員会の開催日は、退任する堤副委員長の後任の方との調整を踏まえ、5月下旬に開催予定とする。	